

2026
3/7
(土)
13:30~16:30



災害対策を通して 医療的ケアが必要な方と 家族の生活を知ろう

災害時の備えには、自助、互助、共助、公助の4つの助が必要とされています。自分の身に置き換えてこの4つの助を考えたとき、皆さんは何を思いますか。私たちの近所には、どのような助けを必要とする方がいるのでしょうか。人工呼吸器などの医療ニーズが日常的に必要な子どものことを医療的ケア児と呼びますが、近年の新生児医療の進歩と共に、医療ニーズを抱えて日常生活を送る子どもたちが増えており、全国各地に2万人を超える医療的ケア児が存在します。このような子どもたちに欠かせないのが電力であり、周りの大人たちの温かい手です。道南地域にもおよそ20名の子どもたちが自宅で人工呼吸器を使用しています。明日起こるかもしれない災害により、電力の供給が止まってしまったらどうなるでしょう。いま、私たちにできることは何か、自らの立場や垣根を超えて、お互いに意見を交わしたいと思います。

ゲストスピーカー



医療法人稲生会
川村 健太郎 氏



函館市女性会議
佐々木 香 氏

場所：函館中央病院 南棟8階 講堂

定員：先着50名 参加費無料 申込締切3/4（水）

お申込みは下記のフォームまたはQRコードから

<https://forms.gle/XSRaUocWLzBMoP7M8>



ご協力 医療法人稲生会、函館市女性会議

お問い合わせ 函館中央病院 総合医療支援センター こども子育て支援室

電話 0138-52-1231

メール codomo@hakochu-hp.gr.jp